



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日
東

上場会社名 ジオスター株式会社 上場取引所
 コード番号 5282 URL <https://www.geostr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 端山 真吾
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部 経理部長 (氏名) 山床 真一 (TEL) 03-5844-1201
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	30,149	8.3	1,764	25.7	1,778	25.8	891	68.7
2020年3月期	27,832	△18.8	1,403	△60.0	1,413	△59.7	528	△73.9

(注) 包括利益 2021年3月期 1,172百万円(453.9%) 2020年3月期 211百万円(△88.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	28.49	-	4.4	5.6	5.9
2020年3月期	16.89	-	2.7	4.5	5.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	32,918	20,585	62.5	658.01
2020年3月期	30,148	19,569	64.9	625.51

(参考) 自己資本 2021年3月期 20,585百万円 2020年3月期 19,569百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,731	△463	△166	4,867
2020年3月期	222	△905	△453	1,766

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00	156	29.6	0.8
2021年3月期	-	0.00	-	8.50	8.50	265	29.8	1.3
2022年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2022年3月期の配当については、現在のところ具体的な金額は未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	0.5	500	△12.4	500	△13.4	300	△20.8	9.59
通期	33,500	11.1	1,400	△20.7	1,400	△21.3	900	1.0	28.77

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	31,530,000株	2020年3月期	31,530,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	245,033株	2020年3月期	245,033株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	31,284,967株	2020年3月期	31,284,967株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	29,648	9.5	1,667	13.9	1,681	13.1	926	70.0
2020年3月期	27,084	△18.3	1,463	△58.4	1,486	△58.0	544	△73.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	29.62		-					
2020年3月期	17.42		-					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	31,918		19,642		61.5		627.84	
2020年3月期	29,082		18,642		64.1		595.91	

(参考) 自己資本 2021年3月期 19,642百万円 2020年3月期 18,642百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	14,400	1.1	500	△10.7	500	△14.3	300	△23.0	9.59	
通 期	33,000	11.3	1,400	△16.1	1,400	△16.8	900	△2.9	28.77	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年6月1日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算補足説明資料につきましては、説明会の開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	11
(修正再表示)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	
役員の移動	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動の停滞や個人消費の低迷が続く等厳しい状況となりました。鉱工業生産は国内外の需要落ち込み、設備投資は企業収益の悪化による上期の大幅な減少からそれぞれ持ち直しつつあるものの、全体として低い水準で推移しております。今後の先行きについては、持ち直しの動きが期待されますが、感染再拡大による国内外経済の下振れリスクや金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があり、不透明な状況が続いております。

当社グループの属する土木業界につきましては、公共投資は堅調に推移しており、先行きについても関連予算の執行により堅調に推移することが見込まれます。しかし、2020年10月に発生した東京外かく環状道路工事現場付近での地表面陥没事故に伴い、出荷遅れが発生しており、加えて顧客において新型コロナウイルス感染症が原因となり工事が中断されることも考えられる等、引き続き予断を許さない状況にあります。

このような状況下、当社グループは、大型セグメントに留まらず中小セグメント、土木製品等の新規受注ならびに生産の積み増しに努めると共に、徹底した原価低減を行い収益力向上に努めてまいりました。なお、当社福岡工場が拠点とする九州地区は、鉄道・幹線道路向けの需要が減少し、当面の収益確保が見通せないため、当連結会計年度において減損損失を計上いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症が当社グループにおける損益に与える影響は、現在のところ無いものと判断しておりますが、収束が未だ見えない新型コロナウイルス感染症の影響をいずれ受ける可能性があるため、常にリスクを事前に想定しながら、状況に応じた迅速な対応を行ってまいります。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高301億49百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益17億64百万円（前年同期比25.7%増）、経常利益17億78百万円（前年同期比25.8%増）と増収増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に計上した減損損失4億70百万円の影響等により8億91百万円（前年同期比68.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の連結総資産は、商品及び製品（前連結会計年度増減額△18億36百万円）、有形固定資産（同△6億16百万円）等が減少したものの、預け金（同30億5百万円）、仕掛品（同13億76百万円）、受取手形及び売掛金（同5億42百万円）、原材料及び貯蔵品（同3億40百万円）等が増加したことにより、前連結会計年度末より27億69百万円増加し、329億18百万円となりました。

負債は、未払法人税等（同7億65百万円）、前受金（同5億10百万円）、支払手形及び買掛金（同3億51百万円）等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ17億52百万円増加し、123億32百万円となりました。

純資産は、利益剰余金（同7億34百万円）、その他有価証券評価差額金（同2億32百万円）が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ10億16百万円増加し、205億85百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は62.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ31億1百万円増加し、48億67百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、37億31百万円の収入（前連結会計年度は2億22百万円の収入）となりました。税金等調整前当期純利益は12億85百万円でありましたが、減価償却費（6億87百万円）、減損損失（4億70百万円）、前受金の増加額（5億10百万円）、未収入金の減少額（3億53百万円）、仕入債務の増加額（3億51百万円）等の増加要因と、売上債権の増加額（△5億42百万円）等の減少要因を加減算したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億63百万円の支出（前連結会計年度は9億5百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出（△4億48百万円）が主なものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億66百万円の支出（前連結会計年度は4億53百万円の支出）となりました。配当金の支払額（△1億57百万円）が主なものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	52.1	54.2	60.0	64.9	62.5
時価ベースの自己資本比率(%)	109.6	59.6	40.9	30.8	40.8
債務償還年数(年)	0.9	2.1	0.5	5.7	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	233.4	99.3	187.8	13.6	666.4

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後につきましては、生産量・売上高は増加するものの、主力であるセグメント製品の市場環境の悪化に伴う収益率の大幅な低下及び大型プロジェクトの出荷遅れに伴う当期の出荷関連コストの増加等により、営業利益・経常利益は減益となる見込みであります。当社グループといたしましては、中小を含むセグメント案件を確実に受注すると共に、土木製品につきましても市場ニーズに沿った商品の開発・技術提案力の強化に努め、受注拡大を図ってまいります。併せて、調達改革・固定費適正化など抜本的なコスト削減を実行し、収益確保に努めてまいります。

このような状況を踏まえ、当社グループの2022年3月期 第2四半期累計期間の連結業績見通しは、売上高145億円、営業利益・経常利益5億円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円、通期の連結業績見通しは、売上高335億円、営業利益・経常利益14億円、親会社株主に帰属する当期純利益9億円を見込んでおります。

また、個別の第2四半期累計期間の業績見通しは、売上高144億円、営業利益・経常利益5億円、当期純利益3億円、通期の業績見通しは、売上高330億円、営業利益・経常利益14億円、当期純利益9億円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	748,894	844,315
預け金	1,017,145	4,022,878
受取手形及び売掛金	7,086,584	7,628,923
商品及び製品	5,214,642	3,378,326
仕掛品	1,010,656	2,387,339
原材料及び貯蔵品	2,152,995	2,493,395
未収入金	2,754,980	2,401,108
未収還付法人税等	324,982	-
その他	279,766	168,736
貸倒引当金	△581	△695
流動資産合計	20,590,066	23,324,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,546,209	7,469,402
減価償却累計額	△5,549,908	△5,675,400
建物及び構築物（純額）	1,996,300	1,794,002
機械装置及び運搬具	9,718,196	9,625,469
減価償却累計額	△7,966,315	△8,060,556
機械装置及び運搬具（純額）	1,751,880	1,564,913
土地	4,274,332	4,063,289
リース資産	54,492	42,246
減価償却累計額	△32,247	△26,170
リース資産（純額）	22,244	16,075
建設仮勘定	25,838	42,858
その他	1,239,264	1,218,923
減価償却累計額	△1,033,855	△1,040,344
その他（純額）	205,408	178,578
有形固定資産合計	8,276,004	7,659,717
無形固定資産		
その他	164,663	186,123
無形固定資産合計	164,663	186,123
投資その他の資産		
投資有価証券	762,960	1,038,778
繰延税金資産	256,201	581,220
その他	108,338	137,559
貸倒引当金	△9,638	△9,700
投資その他の資産合計	1,117,861	1,747,858
固定資産合計	9,558,529	9,593,699
資産合計	30,148,596	32,918,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,381,232	4,732,843
短期借入金	150,000	1,150,000
前受金	1,423,968	1,934,135
リース債務	9,695	6,592
未払法人税等	-	765,574
未払消費税等	14,659	233,474
未払金	2,342,856	2,343,397
賞与引当金	467,659	491,724
受注損失引当金	141,626	158,199
訴訟損失引当金	29,200	-
その他	82,278	43,605
流動負債合計	9,043,176	11,859,547
固定負債		
長期借入金	1,100,000	100,000
リース債務	14,603	11,037
役員退職慰労引当金	98,487	105,450
退職給付に係る負債	232,807	165,196
資産除去債務	89,323	89,542
その他	1,000	1,483
固定負債合計	1,536,221	472,709
負債合計	10,579,398	12,332,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,352,250	3,352,250
資本剰余金	4,384,580	4,384,580
利益剰余金	11,741,770	12,476,531
自己株式	△28,670	△28,670
株主資本合計	19,449,930	20,184,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,561	420,616
退職給付に係る調整累計額	△69,294	△19,537
その他の包括利益累計額合計	119,267	401,079
純資産合計	19,569,198	20,585,770
負債純資産合計	30,148,596	32,918,028

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	27,832,989	30,149,522
売上原価	23,251,338	25,666,353
売上総利益	4,581,651	4,483,169
販売費及び一般管理費		
販売費	907,815	873,493
一般管理費	2,270,307	1,844,849
販売費及び一般管理費合計	3,178,123	2,718,342
営業利益	1,403,528	1,764,826
営業外収益		
受取利息	1,719	1,733
受取配当金	12,725	12,433
固定資産売却益	1,827	1,248
還付加算金	-	3,736
受取保険金	10,910	3,595
その他	3,484	3,356
営業外収益合計	30,668	26,104
営業外費用		
支払利息	16,110	5,641
為替差損	2,450	17
リース解約損	-	1,684
上場賦課金	1,560	1,560
その他	259	3,346
営業外費用合計	20,380	12,249
経常利益	1,413,816	1,778,681
特別利益		
投資有価証券売却益	7,904	9,231
訴訟損失引当金戻入額	-	5,350
固定資産売却益	383	647
受取保険金	6,101	-
特別利益合計	14,389	15,229
特別損失		
減損損失	-	470,648
固定資産除売却損	40,819	35,308
ゴルフ会員権評価損	2,550	2,200
訴訟関連損失	31,391	277
関係会社事業損失	569,581	-
災害による損失	11,381	-
特別損失合計	655,724	508,434
税金等調整前当期純利益	772,481	1,285,475
法人税、住民税及び事業税	281,884	846,133
法人税等調整額	△4,458	△451,842
法人税等合計	277,426	394,290
当期純利益	495,055	891,185
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△33,286	-
親会社株主に帰属する当期純利益	528,342	891,185

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	495,055	891,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△365,340	232,055
為替換算調整勘定	48,068	-
退職給付に係る調整額	33,972	49,757
その他の包括利益合計	△283,299	281,812
包括利益	211,756	1,172,997
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	244,880	1,172,997
非支配株主に係る包括利益	△33,124	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,352,250	4,384,580	11,667,060	△28,670	19,375,220
当期変動額					
剰余金の配当			△453,632		△453,632
親会社株主に 帰属する当期純利益			528,342		528,342
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	74,710	-	74,710
当期末残高	3,352,250	4,384,580	11,741,770	△28,670	19,449,930

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	553,902	△47,906	△103,266	402,728	△236,443	19,541,505
当期変動額						
剰余金の配当						△453,632
親会社株主に 帰属する当期純利益						528,342
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△365,340	47,906	33,972	△283,461	236,443	△47,018
当期変動額合計	△365,340	47,906	33,972	△283,461	236,443	27,692
当期末残高	188,561	-	△69,294	119,267	-	19,569,198

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,352,250	4,384,580	11,741,770	△28,670	19,449,930
当期変動額					
剰余金の配当			△156,424		△156,424
親会社株主に 帰属する当期純利益			891,185		891,185
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計	-	-	734,760	-	734,760
当期末残高	3,352,250	4,384,580	12,476,531	△28,670	20,184,691

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	188,561	△69,294	119,267	19,569,198
当期変動額				
剰余金の配当				△156,424
親会社株主に 帰属する当期純利益				891,185
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	232,055	49,757	281,812	281,812
当期変動額合計	232,055	49,757	281,812	1,016,572
当期末残高	420,616	△19,537	401,079	20,585,770

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	772,481	1,285,475
減価償却費	916,914	687,830
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,719	175
受取利息及び受取配当金	△14,445	△14,167
支払利息	16,110	5,641
固定資産除売却損益 (△は益)	38,608	33,412
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7,904	△9,231
訴訟損失引当金戻入額	-	△5,350
受取保険金	△6,101	-
減損損失	-	470,648
ゴルフ会員権評価損	2,550	2,200
訴訟関連損失	31,391	277
関係会社事業損失	569,581	-
災害損失	11,381	-
売上債権の増減額 (△は増加)	456,906	△542,339
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△230,788	119,232
未収入金の増減額 (△は増加)	869,563	353,600
仕入債務の増減額 (△は減少)	△531,538	351,611
前受金の増減額 (△は減少)	212,297	510,167
その他	△635,550	361,957
小計	2,474,178	3,611,141
利息及び配当金の受取額	14,445	14,167
利息の支払額	△16,284	△5,599
保険金の受取額	6,101	-
訴訟関連損失の支払額	△15,908	△24,127
関係会社事業損失の支払額	△992,390	-
災害損失の支払額	△7,384	-
法人税等の還付額	-	135,857
法人税等の支払額	△1,240,718	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,037	3,731,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△150,007	-
有形固定資産の取得による支出	△719,148	△448,066
有形固定資産の売却による収入	9,520	2,729
投資有価証券の売却による収入	20,919	69,711
その他	△66,560	△87,755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△905,276	△463,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	114,447	-
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△200,000	-
配当金の支払額	△453,664	△157,000
リース債務の返済による支出	△13,801	△9,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453,018	△166,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,315	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,139,572	3,101,154
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,612	1,766,039
現金及び現金同等物の期末残高	1,766,039	4,867,194

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

該当する事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法の変更)

従来、有形固定資産の減価償却方法については、主として定率法によっておりましたが、当連結会計年度から定額法に変更しております。

この変更は、今後の設備投資の中心的内容が、製品ニーズの高度化に対応した新技術等を取り込む設備投資から老朽更新投資に変化することが想定されるため、設備価値の減少の費用化である減価償却費の期間配分において、新技術取込による設備の陳腐化を想定した定率法よりも耐用年数に応じた平準的な経年劣化を想定した定額法の方が実態に合致するとの理由によるものであります。なお、当社の親会社である日本製鉄株式会社も当社と同様の理由により当連結会計年度から有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しておりますが、親会社との会計方針統一の観点から、当社も時期を合わせて減価償却方法を見直すことが適切であると判断致しました。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ126,213千円増加しております。

(修正再表示)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、土木事業の単一セグメントであり、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	625.51円	658.01円
1株当たり当期純利益	16.89円	28.49円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	528,340	891,185
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	528,342	891,185
普通株式の期中平均株式数(株)	31,284,967	31,284,967

(重要な後発事象)

該当する事項はありません。

なお、上記以外の注記につきましては、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

5. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当する事項はありません。

② その他の役員の変動

本日（2021年5月13日）開示いたしました「役員等の変動に関するお知らせ」をご参照ください。